

まちがえやすい漢字

「観」と「歡」は
交換できない

目標と
振り返り

□ 似た形やまちがえやすい漢字について
の理解を深める。

漢字の中には、基本となる形を組み合わせて新しい意

味をもたせたものがあります。そのため、漢字を形づくっている部分どうしが、同じであったり似ていたりする場合があります。このような漢字を読んだり書いたりするときには、注意が必要です。

次にあげる漢字を見てください。

○「札」「乱」……これらは、「つくり」の部分の「乙（し）」が共通しています。

○「職」「識」「織」……これらは、「つくり」の部分の「戠」が共通しています。この部分は、「シヨク」または「シキ」という音を表す役割があります。

このように、部首以外の部分に同じ形をもつ漢字は、同じ音読みになることがしばしばあります。

例

謙遜 <small>けんそん</small>	嫌煙 <small>けんえん</small>	伸縮 <small>しんしゆく</small>	紳士 <small>しんし</small>	緯度 <small>いど</small>	偉人 <small>いじん</small>
賢慮 <small>けんりょ</small>	堅塁 <small>けんるい</small>	快適 <small>くわいしつ</small>	敵地 <small>てくち</small>	消耗 <small>しょうもう</small>	硝酸 <small>しょうさん</small>
栽培 <small>さいばい</small>	裁判 <small>さいばん</small>	記載 <small>きざい</small>	側溝 <small>そくこう</small>	機構 <small>きこう</small>	講演 <small>こうげん</small>
					購買 <small>こうばい</small>

また、次にあげるもののように、よく似た形をした部首をもつ漢字もあります。

○「ネ」（しめすへん）……もとの形は「示」で、神や祭礼に関する事柄ことごとを表しています。

例 「禪」ぜん 「社」 「神」 「福」 「祥」しょう

○「ネ」（ころもへん）……もとの形は「衣」で、衣服やその製造に関する事柄を表しています。

例 「補」 「袖」 「複」 「襟」えり

漢和辞典などで確認することで、形が似ていてもまちがえにくくなるでしょう。

練習

① 次の□に入る漢字を、下の()の中から一つずつ選び、二字の熟語を完成させよう。

- (1) 鍛□ □習 (練・鍊)
- (2) 修□ □食 (膳・繕)
- (3) □色 □采 (褐・喝)
- (4) □品 □止 □税 (阻・租・粗)

② 次の□に入る漢字を、あとの()の中から一つ

ずつ選び、文を完成させよう。

- (1) □擦で熱が発生する。
病□に侵される。
- (2) レンズを研□する。 (磨 魔 摩)
- 化学の実□をする。
- 医療保□に加入する。
- 約して貯金する。
- 内容をよく□討する。 (検 験 儉 険)

この教材で学ぶ漢字

耗 モウ 磨耗	罌 ルイ 土罌	堅 ケン かたい 堅実 堅物	慮 リョ 考慮	賢 ケン かしこい 賢い判断 賢者	緯 イ 経緯	紳 シン 紳士服	伸 シン のびる 伸張 背が伸びる	嫌 ケン きらう いや 嫌い 嫌だ 好き嫌い	遜 ソン 遜色	謙 ケン 謙虚
膳 ゼン 配膳	鍊 レン 精鍊	鍛 タン きたえる 鍛錬 体を鍛える	襟 エリ 襟首	袖 ソデ 長袖	祥 ショウ 吉祥	禪 ゼン 座禪	柄 エ 人柄 ほうきの柄	購 コウ 購入	溝 コウ 深い溝	硝 ショウ 硝煙
儉 ケン 節儉	摩 マ 摩天楼	磨 マ みがく 表面を磨く 百戦錬磨	粗 ソ 粗密 粒が粗い	租 ソ 公租	阻 ソ 阻害	喝 カツ 一喝	褐 カツ 茶褐色	采 サイ 采配	繕 ゼン つくりかえ 繕い物 営繕	

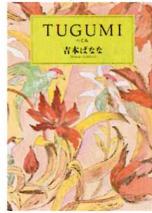
広がる本の世界

学びを深める読書案内



岳物語
椎名誠

プロレスと釣りが大好きな椎名家の長男、岳の成長物語。



TUGUMI (つぐみ)
吉本ばなな

病弱で生意気なつぐみとまりあの、ひと夏を描く青春小説。



エイジ
重松清

エイジ、中学2年生。通り魔事件の犯人として同級生が捕まった。



夏草冬濤
井上靖

作家、井上靖の自伝的作品。『しろばんば』の続編ともいえる。



ぼくらの言葉塾
ねじめ正一

文字で、声で、自分の言葉を見つけよう。



羊と鋼の森
宮下奈都

ピアノの鍵盤をたたくと、森の匂いがした。



モギ ちいさな焼きもの師
リンダ＝スー＝パーク

12世紀後半の韓国。名焼きもの師の見習いとなった少年の物語。



14歳からの日本語の基本。
北原保雄

新語の氾濫に警鐘を鳴らし、本来の日本語を学ぶ重要性を説く。



舟を編む
三浦しをん

辞書は言葉の海を渡る舟。辞書編纂に情熱を注ぐ人々を描く。



精霊の守り人
上橋菜穂子

女用心棒バルサは精霊の卵を宿した皇子チャグムを守ることに。



漢字の練習 1

1 次の——線部の言葉の読みを平仮名で書こう。

- (1) 仁王立ちで迎える。
- (2) 真相を公にする。
- (3) 石高が上がる。
- (4) 職に就く。
- (5) 朗らかな性格。
- (6) 一對の器。

- (7) ○○町大字△△。
- (8) 病み上がり。

- (9) 手綱を引く。
- (10) 戦で名をあげる。

- (11) 仕事の効率化を図る。
- (12) 海に臨む部屋。

- (13) 目頭が熱くなる。
- (14) 商いの利益を損なう。

- (15) 留学費用が要る。
- (16) 氏神様をまつる。

- (17) 軽やかに歩く。
- (18) 乳飲み子を抱える。

2 次の——線部の平仮名の言葉を漢字で書こう。

- (1) 蟬の羽化をかんさつする。

- (2) 引率の先生の指示にしたがう。

- (3) おおぜいの聴衆を前に弁舌をふるう。

15

10

5

この教材で学ぶ漢字

- (4) 若年層のこうどうを調べる。
- (5) 類似のげんししょうを発見する。
- (6) 多くの知己をえる。
- (7) しきんの貸与を受ける。
- (8) 明け方の空に見える金星を「明けの明星」とよぶ。

新出音訓	仁王(ニ)	公(おおやけ)	石高(ヨク)	就く(つく)	朗らか(ほがらか)	一對(ツイ)	器(うつわ)	大字(あき)	病み上がり(やむ)	手綱(た)
戦(いくさ)	図る(はかる)	臨む(のぞむ)	目頭(かしら)	商う(あきなう)	損なう(そこなう)	要る(いる)	氏神様(うじ)	軽やか(かるやか)	乳飲み子(ち)	
羽化(ウ)	引率(ソツ)	弁舌(ゼツ)	若年(ジャク)	類似(ジ)	知己(キ・おのれ)	貸与(タイ)	明星(シヨウ)			

四季のたより
春
花

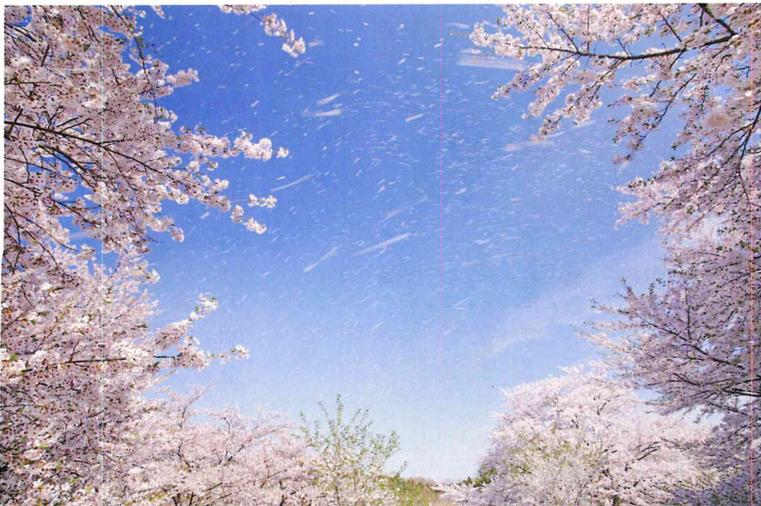
満開の桜に、盛りの春を喜びながらも、人々は早くも散りかか
る花を惜しみます。

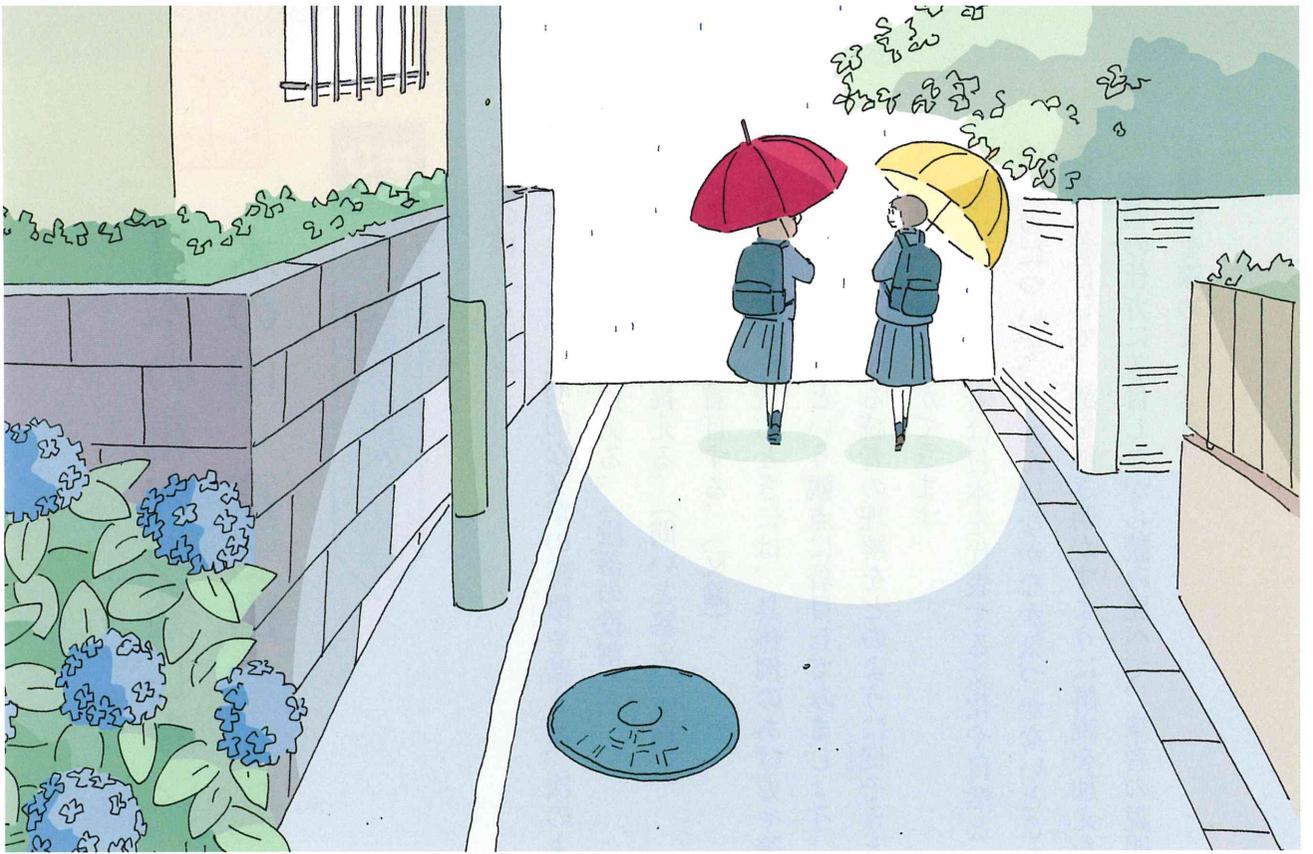
嵐も白き春のあけぼの
み吉野の高嶺の桜散りにけり

後鳥羽院

花の雲鐘は上野か浅草か

芭蕉





二 論理を捉える

読み比べ

日本の花火の楽しみ 小野里 公成

水の山 富士山 丸井 敦尚

多面的に捉える

課題を設定して伝える

言葉の小窓 1 敬語

手紙・メールを整える

言葉と社会 1 社会で求められる表現

広がる本の世界 2